

健やかに育て

我が家のアイドル

我が家のアイドルに登場する就学前までのお子さんの写真を募集しています。秘書広報課までご連絡ください。☎(80)1292



越川 敬介くん・紗妃ちゃん
H18-4-6生・H20-12-24生
面倒見のいい敬介と少しおてんばな紗妃ちゃん。
2人のやり取りが家族を笑顔にしてくれます。(上横地)



中村 光来ちゃん・友哉くん
H18-9-9生・H21-2-21生
お姉ちゃんはおばあちゃんが
弟はおしいちゃんが大好きな姉弟です。(殿台)

山武市の人口 (3月1日現在) 人口57,785人(-53) 男28,822人 女28,963人 世帯数21,458(+8) ()は前月との比較



▲左から齋藤総務部長、伊藤さん、藤田さん、椎名市長

オートバイで時速何百キロとコースを走りぬけ、ゴールをめざすスポーツ。
モータースポーツに挑戦している男の子がいます。伊藤勇樹さん(18歳)、藤田拓哉さん(15歳)の二人です。
二人は共に国際A級ライダー、小さい時からポケバイク、ミニバイクに触れ、レースに参加。

風を感じて 強くそして速く



市のこんな人あんな人輝く人を紹介します

ひとものがたり

伊藤さんは、父と姉の影響で、最初はポケバイクのレースに出場し、12歳で、ミニバイククラスのコースに出場し、シリーズチャンピオンを獲得するなど頭角を現してきた。高校を卒業する伊藤さんは、就職が決まり「これからは、仕事と両立させたい」と意気込みを話します。

藤田さんは、「小さい時やんちゃで両親がたまたま見ていたポケバイクの競技が僕にあっていると思い勧められました」と話し、7歳でレースに参加、伊藤さんに憧れ目標に頑張ってきた藤田さんは、今年地元の中学を卒業。レースに集中できる環境体制を持った高校に進学が決まりました。

この二人が大切にしているものは、『家族』と答えます。月の半分は現場に行きつばなしになることもしばしば。その間、家族は僕たちに付き合ってくれる。支えてくれた人たちにたくさん迷惑をかけてきたので、返す意味でもレースに勝ちたいと熱く語ります。

二人の今後の活動の目標は、全日本選手権でチャンピオンになって、世界グランプリに参加することです。



伊藤 勇樹さん (横田)

2005年ロードレースデビュー、全日本選手権・GP1MONOKクラスに参戦し優勝3回を含みシリーズチャンピオンを獲得。

2006年からは全日本選手権・GP250クラスに史上最年少で参戦し、2008年は年間ランキング9位。世界グランプリに本大会参戦。

2009年茂木7時間耐久レースでは、最年少ライダー賞を受賞。



藤田 拓哉さん (森)

2008年ロードレースデビュー。GP125クラスに参戦し筑波選手権で優勝を含む活躍でランキング3位。

2009年国際A級に昇格し、全日本選手権・GP250クラスに参戦。開幕戦の筑波、続く菅生と2戦連続で4位入賞、第5戦の茂木では一時トップを快走。最終戦鈴鹿では予選2番手を獲得し、決勝でも3位表彰台を獲得。

春は別れと出逢いの季節。たくさんのお出逢いがあれば同じ数だけ別れがあるという。

編集後記 ▶ 3月10日・11日に市内6中学校で卒業式が行われ、今回は成東中を取材。友達や恩師との別れを惜しむ姿を見、涙があふれた。別れがあれば同じ数だけ出逢いがある、新しい出逢いに胸をふくらませよう。